

3月17日：リスク回避ムードの中、もみ合い

VN 指数は金曜日、2日続落し週間でも下落して終えた。

ホーチミン市場のVN 指数は、2.26ポイント下落し1,045.14ポイント(-0.22%)で引けた。同指数は水曜日に22ポイント高となったものの、木曜日は14.79ポイント下落していた。

前日より流動性も増加したためニュートラルな雰囲気が市場には漂っていた。売買代金は10.3兆ドン(約4億36百万米ドル)、出来高は5億65百万株だった。

大型株は堅調だったものの、VN 指数は下落した。時価総額の大きい銘柄で構成されるVN30 指数は0.72ポイント上昇し、1,047.71ポイント(+0.07%)で引けた。30銘柄のうち上昇は16銘柄、下落は11銘柄、3銘柄は変わらずだった。

銀行と不動産セクターが相場を牽引した。ただベトコムバンク(VCB)は2.2%下落し、ビンホームズ(VHM)も2.58%下落した。

製造業も軟調で、ビナミルク(VNM)が2.49%、ホアファット・グループ(HPG)は2.16%、フーニャン・ジュエリー(PNJ)が1.86%、マサングループ(MSN)が0.36%下落するなどした。

大型株で堅調だったのはベトジェット(VJC)で6.76%上昇し、市場の下落幅を狭めた。同社は6月にオーストラリアとの間で最初の直行便を開設することが木曜日に発表され、急上昇した。

またVPバンク(VPB)、HDバンク(HDB)、ビンコムリテール(VRE)、バオベトホールディングス(BVH)などは1%超上昇した。

ハノイ取引所では、HNX 指数が週間で上昇して終えた。金曜日は0.28ポイント上昇し、204.47ポイント(+0.14%)で引けた。

出来高は約5千万株、売買代金は7,667億ドンだった。

直近で国内投資家は売り越しているが、金曜日は外国人投資家はホーチミン市場で6,250億ドン、ハノイ市場で1,049億ドンを買った。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。